

授業科目名： 保育内容指導法総論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：赤松綾子 松田加代 担当形態：クラス分け
科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
授業の到達目標及びテーマ 幼稚園教育要領には「ねらい」「内容」が5領域で示されている。しかし、子どもの遊びは総合的に展開されるので領域の枠を超えて見ていかなければならないことを学習する。			
授業の概要 幼稚園での実際の保育事例の紹介をしながら、総合的な「子どもの遊び」を体験してもらう。その中で身体を通して感じ取る感覚を養う。また、子どもの遊びについて指導案の作成をし、援助の在り方、環境構成など基本的な理解を深める一助とする。素話に取り組み、保育技術の一端を知ると共に文化を育てる保育についても考えさせたい。			
授業計画 通信：第1回～第7回 面接：第8回～第15回 第1回：幼児教育施設としての幼稚園設立とフレーベル主義の保育方法 第2回：保育指導法とその変遷 ・明治時代から現代にいたるまでの保育内容と指導法について 第3回：9月の子どもの姿について(3歳4歳5歳児別) ・子どもの興味関心から遊びの展開を考える 第4回：お月見について・・意味を問う行事 ・お月見を子どもたちにどう伝えるか 第5回：保育内容と教育課程との関係 ・教育課程編成と指導計画について（指導案作成） 第6回：秋の自然について ・秋の自然を見つける ・保育者の視点で子どもに出会わせたい秋とは 第7回：秋の自然と子ども ・どんぐりを拾い集める ・どんぐりによる遊びの展開とお話でのみぶり表現 第8回：行事「運動会」について ・運動会のねらい ・各種目の実際、写真、ビデオ、道具を見る ・保育者のアイデアについて 第9回：幼稚園で実施する 三大型事のひとつである「作品展」について ・「作品展」の意味 ・情報機器を活用し、子どもの育ちや絵・作品を効果的に展示するには 第10回：保育者には意図がある、保育者の言葉かけや行動の意味 ・子どもの気持ちを汲み取りながら、保育を進める ・記録映像を見ながら考えよう 第11回：個と集団をいかした保育方法について 第12回：子どもの言葉や行動から思いを読み取る実践 ・保育記録を書く 第13回：模擬保育をしてみよう ・素話に挑戦してみよう・友達に聞かせよう 第14回：実際の遊びをしてみよう ・凧作りと凧あげ 第15回：授業を通じての取りまとめ及びレポート作成			
テキスト：「保育内容総論 新保育シリーズ」小田豊、西村重稀、神長美津子（光生館）			
参考書・参考資料等 なし			
学生に対する評価 通信：課題提出（2課題）面接：提出物（保育記録）及び模擬保育、レポート			

